平成13年度当初予算 基本事務事業目的評価表

[*基本事務事業名*] 障害児福祉事業

(602)

[評価年月日] 平成12年11月9日

[主担当部課名] 健康福祉部障害保健福祉課

[記入課名・課長名・電話] 障害保健福祉課長 長坂裕二 059-224-2277

1 総合計画の政策体系上の位置づけ

 政策: 健やかな生活の確保
 (2)

 施策: 子育て環境の整備
 (3)

総合計画の目標項目: 重症心身障害児(者)通園事業実施力所、心身障害児通園事業実施力所 波及効果・副次的効果を及ぼすと考えられる施策:

2 基本事務事業を巡る環境変化(過去、現状 将来)

- ・在宅生活を希望する障害児者が増えている。 ・重症心身障害児者の入所、通所ニーズが増大している。 ・平成7年末に国の障害者プランが策定され、県においても平成10年3月に障害者計画を改訂し、整備目標を設定した。
- ・介護者の高齢化に伴い、重症心身障害児者の入所、通所のニーズが高まり、今後も需要が増 大する。

3 基本事務事業の目的と成果

3-(1) 対象と意図(何をどういう状態にしたいのか)

心身に障害のある児童の早期発見、治療、療育により、障害の軽減及びその介護者の介護負担を軽減を図る。

- 3-(2) 成果指標名・成果指標式(総合計画の目標項目には*を付す)
 - * 障害児通園事業目標達成率 (児デイサービス)実績 / 総合計画目標数 (重心通園)実績 / 総合計画目標数

変更した場合の成果指標名・成果指標式

3-(3) 設定した成果指標に関する説明(指標動向に影響する要因、指標の有用性、設定の理由など)

子どもの発達段階に応じた支援体制の充実、子育てに安心感が持てる環境づくりが必要であり、中でも、保護を必要とする子どもへの支援については、心身に障害を持つ子どもの早期発見とともに、治療、療育が身近なところで実施できる支援体制を整備する必要がある。

3-(4) 結果(施策における2010年度の目標)

子どもを安心して生み育てられるとともに、子どもが健やかに成長できる環境が整っています。

4 基本事務事業の評価

4-(1) 前年度(H11 年度) における基本事務事業の結果評価 前年度に行った内容と成果

- ・平成11年1月から、草の実リハビリテーションセンターにおいて、重症心身障害児(者) 通園事業を開始(基本事務事業・県立障害児(者)福祉施設等事業)
- ・障害児デイサービスを実施する市町村(8市町村)に対する運営費助成及び児童施設入所等

に伴う措置費の負担

・重症心身障害児者等を対象とした療育指導、社会適応訓練等を一部関係団体に委託し実施

前年度に残った課題

4-(2) 本年度(H12年度)における基本事務事業の見込み評価 本年度行っている内容と本年度終了時に見込まれる成果

- ・前年度と同様
- ・三重県済生会が設置主体の重症心身障害児施設(定員40人、ショートステイ10人分、重症心身障害児(者)通園事業施設併設)が平成12年4月から運営開始した。なお、通園事業は、平成12年10月から開始した。

本年度残ると思われる課題

・障害者計画等に基づく計画的な整備。

5 基本事務事業の改革方向

重症心身障害児(者)施策については、入所施設とともに、重度の障害があってもできる限り居宅で生活、介護したいという家族のニーズに応えるため、重症心身障害児(者)通園事業をはじめショートステイ受け入れの拡大等在宅支援体制の充実を図る必要がある。

重症心身障害児(者)通園事業、障害児デイサービス事業については、より身近で、通所しやすいところで実施する必要があることから、障害保健福祉圏域毎に実施できるよう事業の推進を図る。

6 成果指標値及びコスト等の推移

	成果指標值		総合計画	予算額等(刊)	必要概算
	目標	実績	目標数値	所要時間(時間)	コスト(冊)
前々年度	0 0 6	0 0 6		1,707,384	
(H10 年度)	0.36	0.36	9	2,070	1,716,037
前年度			_	1,572,380	
<i>(H</i> 11 年度)	0.36	0.36	9	1,870	1,580,141
本年度				1,709,995	
(H12 年度)	0.48		1 2	1,680	1,717,034
本年度補正後					
(H12 年度)					
翌年度		_		1,663,365	
(H13 年度)	0.56		1 4	1,730	1,670,613
計画目標年次					
<i>(H22</i> 7度)	1.00		2 5		

3/4

7 翌年度(H13年度)の基本事務事業における事務事業戦略プランシート(PPM: Project Portfolio Matrix)
< 必要概算コスト: 5 億円以上 ~ 1 億円 ~ 5 千万 ~ 1 千万 ・ 1 千万未満 * 休止・廃止>

基本事務事業の成果に	向上への貢献度合 障害児デイサービス事業費補助金 重度障害児地域生活支援事業 障害児童措置事業		
直接的に貢献する			
間接的に貢献する			
貢献度合の考慮外 ~活動基盤となる 事務事業など			
	即効性(2年以下)	中期的(年~ 年)	長期的(年以上)

効果発現までの期間

各事務事業名の右に付した矢印は、それぞれの事務事業に対する力の入れ具合である「注力」の変化の方向を表している。

4/4

8 基本事務事業を構成する事務事業の詳細 新規事務事業には、事務事業名に(新)を付す

37770-3-373-3-371-	-10、	19 = 132				
事務事業名 (担 <u></u> 課)	成果指標名	事務事業の概要	13 年度 予算額 (千円)	予算額 前年度 比 (±千 円)	13 年度 所要時間 (時間)	所要時間 前年度比 (±時間)
障害児デイサービス事 業補助金 (障害保健福祉課)	障害児通園事業目 標達成率	障害児の早期療育のため、通所により定期的に医師、訓練士による指導及び療育訓練等を行う心身障害児療育センターを設置する市町村に対し補助する。	73,844	5,736	150	50
重度障害児地域生活支援事業 (障害保健福祉課)	総合計画目標達成 率	在宅の重度障害児に対し障害種類別に応じた訓練や研修会、相談会等を実施する。・心臓機能障害社会適応訓練・ 肢体不自由児療育キャンプ・言語療育訓練・重症心身障 害児(者)通園事業	19,462	7,114	480	0
障害児童措置事業 (障害保健福祉課) 		障害児の自活に必要な知識の供与、治療及び訓練を行う ため、対象障害児を障害児福祉施設に入所措置し、それ に要する費用を負担する。	1,570,059	-59,120	1,100	0